

事業実施の目的	各園・所と小学校で、幼保小連携・接続の取組を一層充実させ、一人一人の多様性に配慮した上で、子供の成長を支えるカリキュラムの開発、実践、改善、発展を行うとともに、この時期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図ることを通して、全ての子供に学びの基盤を育む。
---------	--

事業内容 ・成果 (R4年度)	<p>1. 主な取組内容について</p> <p>【架け橋期のカリキュラム開発会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバー…大学の有識者や再委託市町の幼保小連携協議会メンバー等 ・開催頻度…年2回（R4は、10月と2月） ・会議内容…本事業の考え方や方向性の共有、実践交流等 <p>【架け橋期のカリキュラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成方針…手引きにある共通の視点を参考に、今各々が作成しているカリキュラムを園・所等と小学校で共に改善 <p>【園・小学校における体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再委託市町を含む各市町で、幼保小連携協議会及び幼保小合同研修会を設置、内容の充実 ・幼保小連携担当教員の位置付け (園・所等との連携や校内の連携・調整を行うなどの幼保小連携・接続に係る中心的役割を担う幼保小連携担当教員を各校1名位置付け、その者を対象とした悉皆研修会の実施) <p>【自治体における体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭を園・所等に派遣し、幼児教育の実践を体験させる「幼児教育長期派遣研修」の実施（R4は3名を派遣） ・小学校の初任者を対象に、園・所において1日保育を体験する「就業体験」の実施 ・その他研修の実施（幼保小合同研修会、管理職研修等） <p>2. 主な成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再委託市町では、「特別な配慮を要する子供への支援に係る研究」や「保護者の理解促進に係る研究」等、地域に応じた幼保小連携・接続の取組がなされた。 ・行政が場を設定せずとも、園所等と小学校が自主的に連携をとっている地域もあり、園所等と小学校が日常的な連携のもと、相互理解が深まってきている。
-----------------------	---

事業実施地域・協力園校 (R4年度)	<p>【再委託地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹原市、東広島市、廿日市市、海田町、安芸太田町、三次市、庄原市 	<p>今後の目標 (R5年度)</p>	<p>全ての子供が乳幼児期の育ちと学びを基盤としながら学校生活に円滑に移行できるよう、次のことに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続の充実事業（新たな地域に本事業を再委託） ・幼児教育長期派遣研修 ・小学校初任者研修「園・所における就業体験」 ・その他研修（幼保小連携担当教員研修等）
-----------------------	--	-------------------------	---

